

鳥羽における高碇達之助
—東洋水産株式会社の興亡—

村上友章（三重大学教養教育機構）

はじめに

1、勃興する缶詰産業

（1）日露戦争と軍用缶詰

- * 近代水産業の勃興と缶詰
- * 日露戦争という分岐点
- * 軍需産業から民需産業への転換

（2）三重県における缶詰産業の勃興

- * 三重県の缶詰産業の勃興
- * 石原円吉
- * 日露戦争と三重海産組合の結成

2、東洋水産株式会社の設立

（1）中央と地方の対立と妥協

- * 有松英義三重県知事の勧誘
- * 牧朴真農商務省水産局長の来津
- * 東洋水産株式会社の設立

（2）東洋水産の独自性

- * 東洋水産の目的
- * 東洋水産の組織
- * 東洋水産の立ち上げ

3、度重なる試練

（1）東洋水産の再編

- * 経営不振と無配当
- * 第2回振込みと大株主の離反
- * 再編後の東洋水産

（2）輸出の不振

- * 対米輸出という切り札
- * 米国市場の波乱
- * 軍需産業への回帰

4、東洋水産の消滅と遺産

（1）幻の「帝国水産会社」

- * 牧朴真の介入
- * 東洋水産の存続
- * それぞれの旅立ち

（2）東洋水産という「実験」

- * 伊谷以知二郎と「水講閥」ネットワーク
- * 志摩地方に残したもの

おわりに